

現在の熊本城の様子

2020年1月現在

てん しゅ かく 天守閣

大天守の外観工事はほぼ完了し、内装工事などを行っています。小天守の石垣の積み直し作業は終了し、小天守の仮設屋根が撤去され、鯨瓦の設置が完了しました。天守閣の完全復旧・内部公開は、2021年春を目指しています。2019年10月5日から、特別公開第1弾として、原則日曜・祝日限定で、工事用スロープを通して大天守外観を観覧することができるようになりました。



天守閣東面（2019年11月9日撮影）



加藤神社境内から見た天守閣（2019年11月9日撮影）



市役所から見た天守閣（2019年10月9日撮影）

いい だ まる ご かい やぐら 飯田丸五階櫓

櫓本体を支えていた石垣の解体が終了し、五階櫓石垣に隠れていた築城初期の石垣が見えています。内側の石垣が見られるのは今だけです。熊本市役所14階や長塀通りからも観覧できます。



竹の丸からの風景（2019年6月10日撮影）



市役所からの風景（2019年10月9日撮影）

なが べい 長塀

国指定重要文化財

地震で折れた石製の控柱は、ステンレス製のボルトを入れて、接着剤で接着して補修しました。その後控柱※を補強するコンクリート基礎の工事を行い、塀本体の組み立てを行います。

※控柱（ひかえばしら）：塀本体を後ろで支える柱



控柱の補修作業（2019年8月2日撮影）



塀基礎石設置作業（2019年8月8日撮影）

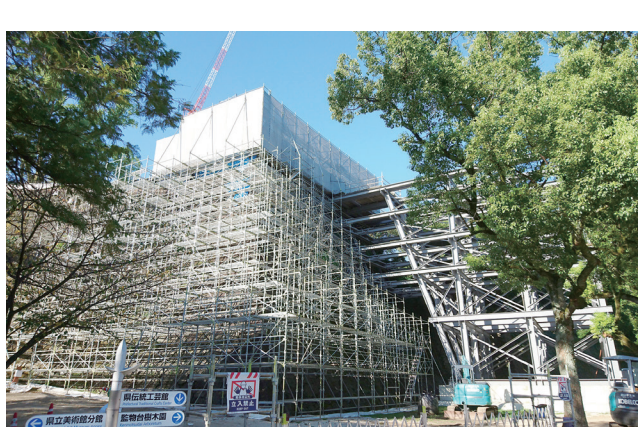
ひら やぐら 平櫓

国指定重要文化財

櫓復旧に向けて、傷んだ建造物を一旦解体します。それに先立って櫓の横に崩落していた石垣石材の回収を行いました。現在は、櫓本体の解体保存工事を行っています。



崩落石材回収作業（2019年8月5日撮影）



解体作業中（2019年9月17日撮影）